

## 平成22年度共同研究の概要(成果報告書抜粋)

**研究種別:** 研究集会

**研究代表者:** 北川 秀樹 (龍谷大学 法学部・教授)

**研究協力者:** 保母武彦 (鳥根大学・寧夏大学国際共同研究所 顧問)、山中典和(鳥取大学乾燥地研究センター 教授)、郭俊栄(陝西省林業調査企劃院 副院長)、平野悠一郎(森林総合研究所林業経営・政策研究領域 )

**研究題目(和文):**

中国の森林政策と緑化協力

**研究概要(和文):**

集会名 中国の森林政策と緑化協力を考えるシンポジウム

場 所 龍谷大学ともいき荘 第二研修室

概 要 I部 9:30-14:20

テーマ:中国の森林法政策と環境保全  
報告

1.「中国の森林保全に関する法政策と課題」

中国国家林業局 劉燦研究員

2.「中国の土地法政策と草原・森林資源保護」

拓殖大学政経学部 奥田進一准教授

3.「陝西省の林業発展政策」

陝西省林業調査企劃院 郭俊栄副院長

(休憩・昼食)

4.「退耕還林政策の成果と今後の課題」

拓殖大学政経学部 関良基准教授

5.「中国の林権改革をめぐる社会背景」

森林総合研究所 平野悠一郎研究員

(休憩)

II部 14:45-17:30

パネルディスカッション

テーマ:植樹協力からみた中国の森林

パネリスト

黄河の森緑化ネットワーク 矢野正行事務局長

緑の地球ネットワーク 高見邦雄事務局長

環境保全ネットワーク京都 田中誠司理事

陝西省林業調査企劃院 郭俊栄副院長

コーディネーター:鳥取大学乾燥地研究センター 山中典和教授

成 果

中国側から参加した国家林業局・劉研究員から中国の森林と政策全般について、陝西省・郭副院

長からは同省の森林と政策について、紹介があった。

また、拓殖大・奥田准教授からは土地をめぐる権利の問題を物権法、自然資源保護法との関係で報告があった。

さらに、拓殖大学の関准教授から退耕還林政策の成果と課題について、森林総合研究所の平野研究員からは集団林権制度改革について、具体的な事例をあげ報告された。

これらを通じ退耕還林については、補助金支給長期化による農民の自主性の欠如、政策終了時における農地転換のおそれがあり、林権改革については、林地経営の小規模化・分散化、森林経営の放棄、公益的機能の低下などの懸念が指摘された。

また、林権流通のための条件整備、生態への適応、専業合作社の奨励による農民の自主性の引き出し、再就職援助などの必要性が指摘された。

後半のシンポジウムは、中国で植樹活動をおこなう関西の3つのNGOから活動紹介があり、植樹の意義について意見交換した。会場からは、植樹は河川の水枯渇の原因になっているとの指摘もなされた。